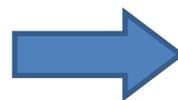


○計画策定の経過・目的

- 道と川の駅やえこりん村のオープンによる観光振興への気運の高まりを受け、第1期観光振興計画(H20～H27)策定。
- リーマンショック(H20)や東日本大震災(H23)などによる国内外の旅行者減少。
- 「恵庭の観光を考える会」から、社会情勢の変化に応じた恵庭の観光振興施策の推進へ向けた提言(H26)。
⇒⇒⇒⇒ 体系的・計画的に観光振興を推進するために第2期観光振興計画を策定

前期計画
【計画期間】平成28年度～令和2年度



後期計画
【計画期間】令和3年度～令和7年度

○基本理念 「花のまち 恵みの庭を育む 観交まちづくり」

- 恵庭ならではの「花のまちづくり」の特長を生かし持続するため、人づくりと観光振興を一体的に推進する。
- 市民がまちの魅力を知り、楽しみ(愛し)、育て、情報発信していく。
- 市民や地域と来訪者の交流を一層高め、恵庭スタイルの観光を構築するため「観交」と表現し、持続的な来訪や、満足度向上につなげる。

○計画における目指す効果

- 恵庭の認知度の向上
- 交流人口の拡大
- 経済波及効果の拡大(観光消費額の向上)

○成果指標

目標	現在値(H26年度)	目標値(R7年度)	増加率
年間入込客数	133.3万人	150.0万人	↑
観光消費額	約55億円	約62億円	↑

○計画における施策の対象について

対象	方向性
道央圏 メインターゲット	<ul style="list-style-type: none"> ●道央圏340万人をメインターゲット(特に女性、50～60歳代)とし、認知度の向上や、観光資源の魅力向上、差別化・ブランド化により、恵庭ファンやリピーターを創出する。 ●日帰観光でありながら、市内を周遊いただくことや、年間の来訪回数を増加させることにより、経済波及効果の拡大を目指す。
道外観光客 外国人観光客	<ul style="list-style-type: none"> ●新千歳空港～札幌間を移動する旅行者にとって、北海道旅行での着地(行程)のひとつとして、気軽に立ち寄れる訪問地を目指す。 ●体験型観光の充実と、手軽さを両立(短時間でも楽しめる)し、地域住民との交流機会を創出する。

日帰型滞在

広域型滞在

第2期恵庭市観光振興計画の概要 2

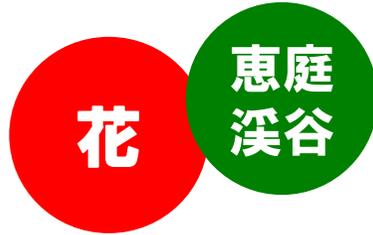
○基本方針と基本施策に関連する具体的な取り組みを25の事業についてアクションプランとして設定し、民間、市民がそれぞれ連携もしくは協働しながら、推進していく。

【恵庭市の強み】

- 札幌市と新千歳空港の中間にある立地と交通利便性
- 花のまちづくり
- 恵庭溪谷などの豊かな自然
- 食の魅力

【恵庭市の弱み】

- 通過型のまち
- 観光資源の認知度不足
- 受入環境の未整備



恵庭市の誇れる観光資源は「花」と「恵庭溪谷」

基本方針

①市民が主体となった観交まちづくり

②観光プロモーションの充実

③魅力ある観光地づくり



恵庭市観光振興施策の体系

